NEWSLETTER #3
SEPTEMBER 2021

The AFGHAN PROJECT

EJAAD

HANDCRAFTED BY WOMEN

SALAAM ALAIKUM,
WELCOME TO OUR 3RD NEWSLETTER

エジャード ニュースレター 第３号へようこそ！

ご存知のとおり、現在アフガニスタン社会はきわめて困難な状況に置かれています。

エジャードのメンバーやその家族は大丈夫ですか？と多くの方々が心配してくださっています。幸い彼らは全員無事ですが、精神的にも経済的にも、試練の時を経験しています。それゆえに、私たちのプロジェクトは今まで以上に重要となっています。女性たちが学んだり仕事をしたりするための安全なスペースが一層必要となりました。

私たちはいま、拠点となるエジャード・センターの建設を進めていますが、その建物は小さな住宅街に位置し、目立たず安全な場所にあります。

現在エジャードが支援している女性たち及びその家族は、カーブルとその近隣の村に暮らす２５世帯です。これからも彼らに寄り添い続け、支援に最善を尽くします。

以下のニュースをぜひご覧ください。

THREADS of HOPE

—希望の糸—

伝統的な刺繍の製作を通じて、アフガニスタンの女性たちの学びと就労を支援します

BIG NEWS FROM EJAAD

BIG NEWS! Ejaad Workshop & Learning Center

エジャード・センターの建設がスタートしました！

拠点となる施設を持つことは私たちの長年の目標でした。いよいよこの夢が実現しようとしています。女性クリエーターたちが安全で目立たなく集まれる場所ができるのはとても嬉しいことです！

建物の設計は、デザインを通じて社会変革に取り組んでいるArchitects Without Frontiers (AWF　国境なき建築家集団)がしてくれました。彼らの力を借りて理想的なコミュニティースペースを作ります。また、失業率が高いカーブルで、建設業者、配管工、電気技師、労働者、エンジニアなど、１７人の地元のアフガニスタン人にも仕事を提供できます。

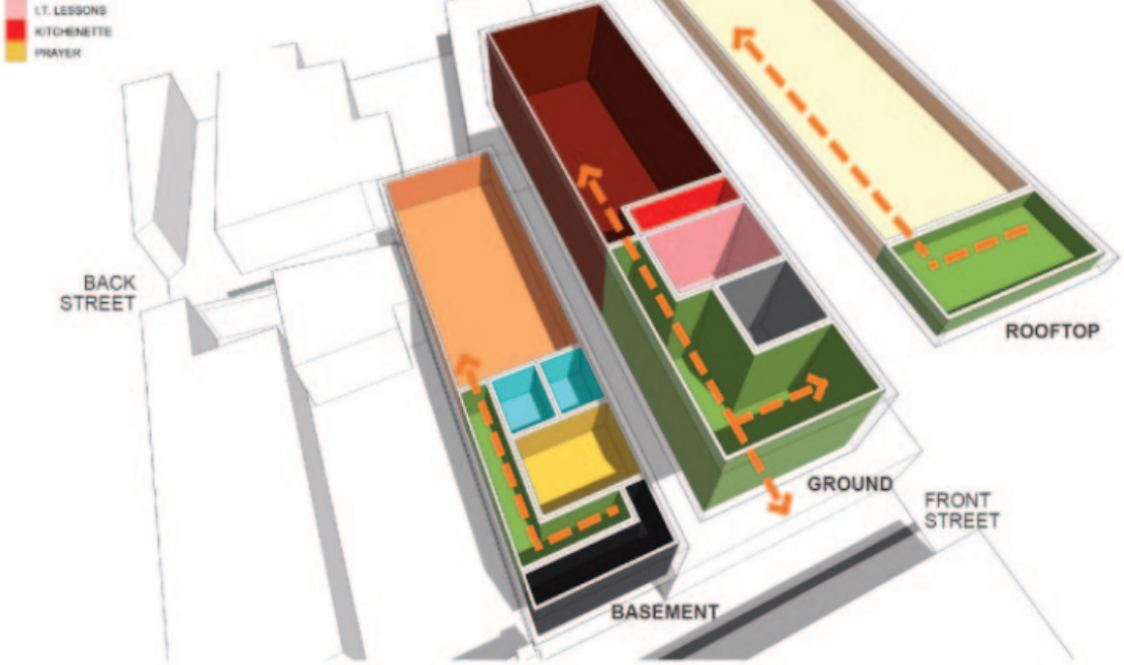
このセンターは、２つのフロアからなり、保管庫のある刺繍製作エリア、オフィス、学習スペース、小さな図書室、キッチン、バスルームで構成されます。屋上は、仕事をしたり、お茶を飲んだり、新鮮な空気の中で集まるのにも使える空間です。センターができることで、互いに協力したり相談しながら作業することができます。刺繍のトレーニング、会議、識字や技術のクラスを開催することもできるようになります。小さな図書館では、子たちに遊びながら学ぶ機会を提供することも計画しています。

現在、建設資金のクラウドファンディングを実施中です。ご協力よろしくお願いいたします

「夢をあきらめない！」アフガニスタンの女性たちが学び働く場を作ります。

https://congrant.com/project/ejaad/3422 ➡

なお、ご寄付の一部を、このたびの政変による混乱によって苦境に陥っている家族への支援として使わせていただくことをご了承ください。命をつなぐための食料や医療費となります。わずかな額でも結構です。よろしくお願いたします。



OPTION 1
PLAN

EJAAD WOMEN'S WORKSHOP TRAINING AND LEARNING CENTER

architecture sans frontières INTERNATIONAL

ARCHITECTS WITHOUT FRONTIERS

GOOD DESIGN AWARD® WINNER

EJAAD

TODAY

今どんなことをしているのでしょう

TIFA & CAFE SAPANA - OSAKA, JAPAN

大阪府豊中市の「カフェ・サパナ」で毎月第3土曜日に開かれる「サパナ・マーケット」にて、ユリコさんがエジャードの刺繍作品を展示・販売しています。コロナ禍でしばらくお休みしていましたが、また再開して新しい作品を紹介し、地域の方々にお買い求めいただいています。

「カフェ・サパナ」はいろんな国のお料理も味わえる、楽しい国際交流スペースです。

https://www.facebook.com/tifacafe

ACTION THROUGH MENTORING　子どもや学生とともに

このプロジェクトでは学生たちも熱心に活動しています。関西学院千里国際学校とサウジアラビアのKAUSTでは、学生たちがグラフィックデザインを手伝い、エジャードについての意識を高めてきました。日本とサウジアラビアの学生のクラブは今年、とても成長しました。教育者として、私たちは子供たちに世界のどこで影響を与えることができるかを見てもらいたいと思っています。Ejaadは、若者や学生がクリエイティブかつ情報に基づいた行動で他の人を助け、共感や視野を広め、文化理解を深めるためのメンターであります。

現在、中国の北京、タイのバンコク、そしてサウジアラビア、日本の大阪で エジャードに協力している学校があります。その学生が、芸術、文化、そして国際平和を通して世界についてもっと学ぶように、他の学生を動機付けることを願っています。

スイスの社会企業家およびコンサルタントであるサンドリーナは、エジャードの活動に賛同し、ヨーロッパで刺繍バッグを販売してくださっています。

スウェーデンのオレブロでは、小さな子どものグループが資金集めを行ない、平和について考えながら、バッグの販売を行なっています。リーダーのマリアはマララの話を聞いて動かされ、子どもたちにもっと学んでもらいたいと思い、私たちに連絡をくれました。

DAYSTAR ACADEMY
启明星双语学校
An Ivy Education Group School

THE KAUST SCHOOL

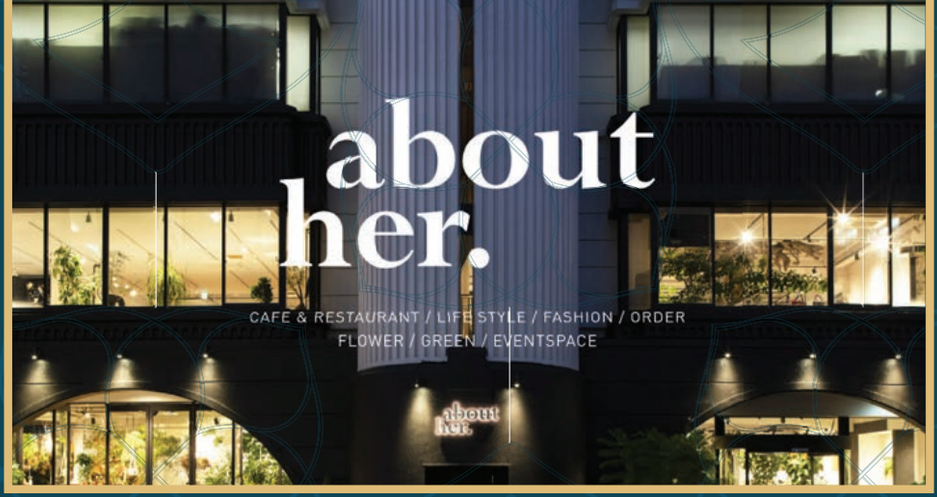
OSAKA INTERNATIONAL SCHOOL OF KWANSEI GAKUIN

関西学院千里国際中等部・高等部
SENRI INTERNATIONAL SCHOOL OF KWANSEI GAKUIN

ファッションハウス、ジュエリー、キルティングとのコラボレーション

この３，４カ月でクリエーターたちは１５０個以上のポーチを製作し、日本、サウジアラビア、オーストリア、スウェーデン、ニュージーランド、中国で販売されました。さらに、クッションカバー、アバヤ（中東で着用される長いローブ）、スカーフ、壁掛け用の刺繍作品など、様々な新しいデザインにも挑戦しています。近々、about her.社とのコラボレーションが予定されており、EJAADの刺繍作品は、ハンドバッグ、携帯ケース、ファッションアクセサリー、Tシャツなどに縫い付けられる予定です。9月22日から10月5日まで、素晴らしいabout her.の施設でポップアップショップを開催予定です。

about her.



SOIS卒業生かつEjaad Clubリーダーの原レイナさんとabout her. のマネージャー松尾里佳さんが9月のコラボレーションついて話している様子（右上）

TURNING TASSELS INTO EARRINGS タッセルをイヤリングに

Mary. J のスージン・キムの、タッセル（飾り房）をイアリングへと変身させるボランティア活動にはいつもインスピレーションを受けます。近頃はEjaadの刺繍作品を金や銀の糸を使ってイヤリングにする方法やブレスレットにする新しいアイディアも考え、見せてくれています。スージンのイノベーション、新しいアイディアに感謝です。９月にAboutHerのお店で見ることをを楽しみに待っています。

ART & CULTURE　アートと文化

オーストリアから来たキルト達人、リサ・グラッソンは（東京在住）この春に私たちとのコラボレーションで美しいアートを製作してくれました。リサは自分の時間と技術を「寄付」して、着物の生地とEjaadの刺繍作品を組み合わせたキルト作品を、販売するために製作してくれています。彼女の才能、ポジティブな意気込み、平和に満ちた取り組みに私たちも心が動かされます。

おめでとう！
CELEBRATIONS

とても嬉しいお祝い事がありました！AbdulとRahimaご結婚おめでとうございます！これからの毎日に幸多きことを願います！
アフガニスタンの伝統では花嫁に金が贈られます。下の写真（中央）は半貴石で作られた頭飾りです。また、パートナーと婚約した時にも、'Shirni'という華やかなスイーツや花で飾られた銀のトレーが一人ずつに贈られます。これらは結婚式の場に、これから二人で歩む人生への祝福として残されます。

Serinaが可愛い女の子を出産しました。私たちもとても嬉しく思っています。赤ちゃんのAishaはたくさんの幸せを両親や親族にもたらすことでしょう。

MEET THREE OF OUR
ARTISANS

３人のクリエーターをご紹介します

RAHIMA

Rahimaは最近結婚しました。地方で両親、そして兄弟と育ちました。彼女の父親はソ連・アフガン戦争で大きな怪我を負い、収入を得る方法がありません。このプロジェクトを通してRahimaは家計を支えることができます。

彼女の教育は、戦争と貧困のために途中で終わってしまっています。私たちはRahimaの夢、英語を学んで子ども達の教師になることが叶えられるようにサポートしたいと思っています。

ZUFASH

ZufashはEjaadの中でも優れた才能の持ち主です。彼女の刺繍デザインはクリエイティブで巧妙に制作されるため作品はよく売れます。Zufashの家族はアフガン・ソ連戦争の時にパキスタンのペシャワールに逃げ、彼女はそこの難民キャンプで育ちました。

高校レベルの教育を受けているため、プロジェクトの中で読み書きができない女性のサポートができます。Zufashは現在婚約していて、両親と兄弟と共に暮らしています。

SERINA

Serinaは既婚者で、二人の可愛い女の子がいます。彼女も地方で育ち、初等教育までしか受けていません。彼女の目標は家計を助けることです。Serinaは刺繍の才能を見せてくれています。ラーニングセンターで指導を受け、デザイナー、そして刺繍作家としての技術をさらに伸ばしたいと願っています。

女性たちの名前は仮名です

EMBROIDERY OF AFGHANISTAN

アフガニスタンの刺繍

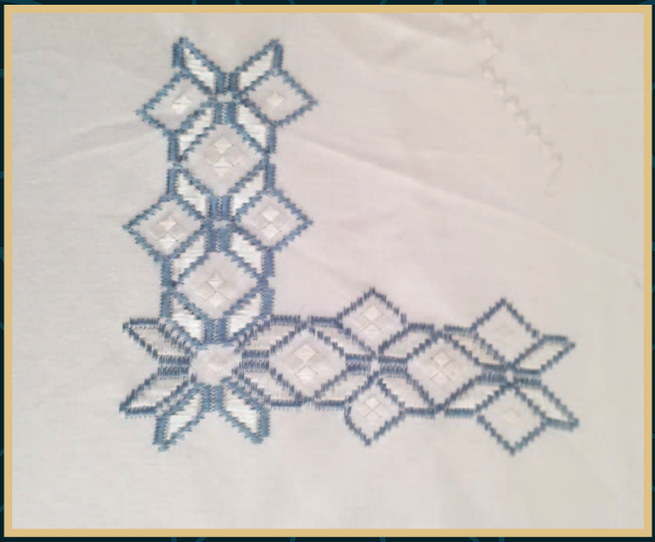
刺繍のやり方はアフガンの女の子ほとんどが子供の頃に学ぶことです。技術は母親から娘と受け継がれ、家族の中で共有されます。女性達が刺繍するその豊かなビジュアルストーリー、それに価値が置かれています。

刺繍デザインはその地方や民族に特有なものです。妻、母親、娘などによって製作された作品に家族は誇りを持ち、特別な機会にそれらを着ます。

KHAMAK EMBROIDERY　カマック刺繍

Khamakは綿に繻子糸を使ったとても繊細でデリケートな刺繍デザインです。幾何学的模様は縫い目を数えて作られ、非常に緻密な作業で綺麗な縁取りや布地へと変化します。これはとても難しく、習得するのに何年もかかります！

AnisaとKainatは姉妹で5、６歳の時から刺繍の仕方を学んでいます。
「Khama刺繍が私たちの国で特別なのは機械でなく手作りだから。大統領や政治家の人たちも着ている。20,000アフガニ（約25000円）くらいのとても高いものもあるよ。」 ~Anisa
「刺繍するのは難しくないけど糸を数えるのがとても難しい。」 ~Kainat



EJAAD

EVENTS & TALKS

2021年　イベントの報告＆予定

MARCH　3月

ＦＥＷ関西に招かれたジェニファーは、このプロジェクトがアフガニスタンの女性達に、そして日本の学生達にも、いかにインパクトを与えているかを話しました。約50人の女性がこのズームセッションに参加し、エジャードの国境を越えたポジティブな活動に大いに関心を示してくださいました。

FEW Kansai
a networking organization for FOREIGN WOMEN in Japan

JULY　7月

活動紹介＆ワークショップ「刺繍がつなぐ アフガニスタンと日本」（豊中市・千里コラボにて）

コロナ禍の中、感染防止に気を付けながら対面のイベントを開くことができました。ユリコが活動紹介のプレゼンテーションを行い、ジェニファーが刺繍体験ワークショップを開き、千里国際学園「エジャード・クラブ」やTIFAのメンバーも手伝いにきてくれました。沢山の方が参加し、刺繍作品をお買い上げくださいました。みなさまの応援に感謝いたします。

ニュージーランドにて

7月25日、アンドレアが母国ニュージーランドのネルソンにて「Cultural Conversations」を開きました。55人の参加者があり、沢山の刺繍作品をお買い上げいただきました。アフガニスタンの女性達の状況について話し合い、交流し、クリエーターたちに温かいエールをいただいて、素晴らしい一夜となりました。オーガナイザーのタニヤさんはじめお世話になった皆さま、ありがとうございました。ネルソンのコミュニティは素晴らしいの一言です！

Follow Us:
https://EjaadAfghanistan.weebly.com

これからの予定

about her.とEjaad Japanは協力して下記のイベントを開きます。

＊9月22（水）～10月5日（火）about her.ギャラリースペースにて作品展示会

◈ ＊10月2日（土）・3日（日） 大阪大学箕面新キャンパスにて「インターナショナル・フェア」に参加

ぜひお越しください！

◈ １１月21日　**EJAAD, JAPAN** は宝塚市立文化芸術センターにてワークショップを開く予定です

Takarazuka Arts Center

◈ エンパワーメントの指導者 Alejandra Chavezさん @supersouldaily がデザインしたプランナー手帳 https://alejandrachavez.kartra.com/page/PlannerJournalCombo

Alejandra さんはエジャードの活動に共鳴し、この手帳の売り上げから1冊あたり10ドルをエジャードに寄付してくださっています。彼女はジェニファーとともに夏のMighty Kids Art Campの立案者でもあります。ジェニファーはこのキャンプの参加費をエジャードに寄付しています。

Thank you Jennifer and Alejandra!

TEAM
EJAAD

運営メンバー紹介

ANDREA

アンドレアはEjaadの共同設立者の一人です。教育者として長年にわたる国際的な経験を持つ彼女は、自らの使命は変化をもたらすことだと考えています。アフガニスタンは戦争で荒廃した国だという一般的なイメージを払拭するために、アフガニスタンの女性たちの生活に寄り添い、豊かな文化を尊重し、ポジティブで心温まるストーリーを共有したいと考えています。旅を愛する彼女は、アートや伝統工芸を通じて文化的アイデンティティを維持することが誇りと生きる力を生み出すことを知っています。

2017年に初めてアフガニスタンを訪れた彼女は、その広大で力強い景観と多様な文化のモザイクに深い感銘を受けました。しかし、最も印象に残ったのは、人々の真の温かさとホスピタリティでした。

「女性が経済的に自立する機会があれば、自分の夢を語り、自分の価値を知り、社会に貢献する一員としての自分を信じることができるようになります。」

ABDUL

アブドゥルは、大阪大学の大学院で経済学を学び、アフガニスタンに帰国後、公務員として働いています。彼は、教育や就労の機会に恵まれない女性たちを助けるために、このプロジェクトを草の根レベルで実施し、アフガニスタンの社会に貢献したいと考えています。そして何よりも、このプロジェクトを通じて、女性たちが自分の家で安心して働けるようになることを願っています。

JENNIFER

ジェニファーは日本在住のアーティスト兼教師です。彼女は、生徒の模範となり、世界に大きな可能性を見出す手助けをしたいと考えています。アートは常にコネクター（つなぐもの）であると感じています。アートは、私たちの違いではなく共通点を教えてくれます。地球市民であるためには、国境を越えて思いを寄せ、機会に恵まれない人々を助ける必要があります。

アフガニスタンでは、女性が日常生活で直面する多くの課題があります。このプロジェクトは、女性を助けると同時に、アフガニスタンの伝統的なデザインを向上させます。

女性を助けることは世界を助けることなのです。

YURIKO

ユリコ（筒井百合子）は、NPO法人 国際交流の会とよなか（TIFA）の国際交流活動を通じて留学生アブドゥルさんと出会い、EJAADプロジェクトの立ち上げメンバーとなりました。ネパールでの女性や子どもの支援活動の経験をもとに、ジェニファーとともにエジャード・ジャパンとして日本での活動紹介や刺繍作品の販売をしています。

日本からは想像もつかないようなアフガニスタンの厳しい社会状況の中で、いかに女性たちに寄り添って活動を進めていくか日々考えながら、現地を訪問する日を待ち望んでいます。

一日も早くアフガニスタンに平和な日々が訪れますように！

HENA

ヘナはカブールでプロジェクトのコーディネーターを務めており、国際チームとのコミュニケーションに欠かせない存在です。彼女は、パキスタンのペシャワールで英語の教師をしていて、クリエーターの中で唯一英語を話せます。最近アフガニスタンに戻ってきて、家族と一緒にカーブル郊外の村に住んでいます。

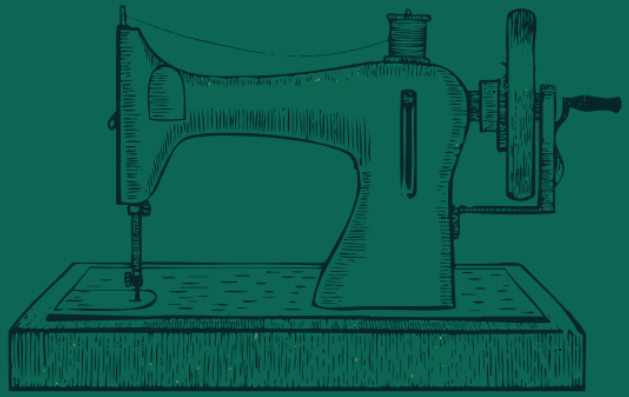
ヘナは、私たちサポーターが作品を販売している多くの国々との間で、注文をコーディネートしています。彼女は熟練した才能豊かな刺繍職人でもあり、各国からのさまざまなリクエストに応じて、伝統的なデザインと現代的なデザインの両方を作ることができます。

FOLLOW US ON

EJAADafghanistan

contact.ejaad@gmail.com

https://www.indiegogo.com/projects/ejaad-embroidery-workshop-and-learning-center/x/14310099#/



EMPOWERING WOMEN

日本語のホームページ https://ejaad.jimdofree.com/
日本語での連絡先　yuriko919@gmail.com（筒井百合子）